

《特選》

あなたの普通、私の普通

中央中学校 1年

北村 優季 さん
きたむら ゆうき

あなたにとって「普通」とは何ですか。私は、普通という言葉で傷ついている人が、たくさんいると思います。自分にとっての普通と相手にとっての普通はちがうと思うからです。

私がこの様に考えたきっかけは、小学六年生のとき経験した出来事があったからです。

私のクラスには話すことや自分の考えを書くことが苦手な子がいました。その子は無口で、仲の良い子以外はほとんど話しませんでした。ある時、一人一つ、自分の意

見を発表していくという授業がありました。みんなすらすらと自分の意見を発表していききました。そして、その子の番がきました。でも、その子は何も言わず固まってしまいました。そのままその子のターンは終わってしまい、授業が終わるチャイムが鳴りました。その休み時間に数人の子が小声でこんなことを話していました。

「なんでそんなこともできないんだろう。」

「普通、それくらいできるよね。」

その言葉を聞いて、自分が言われているわけではないけれど、すごく心がしめつけられました。何で、「みんなに合わせなければいけないだろう」と思いました。その子は、自分なりに考えを伝えようと努力して、一生懸命に意見を書いていました。その事を知らずに「普通じゃな

い。」とか「おかしい。」と言っている行為に、すごく嫌な気分になりました。でも、その場で私は何も言うことができませんでした。

それから私は、自分にとっての普通を他人に押しつけることは、「人を傷つけてしまうんだ。」と気づきました。普通とは、人によって違って、その普通を受け入れ合うことが大切だと思います。そして、「普通じゃないからおかしい。」ではなく、「みんなと違うから」と知りたいたい。という思考に変えて、どんな人でも良いところに目を向けて、自分も相手も傷つかないようにして、気持ちよくいられたらいいなと思います。みなさんの中にも、自分にとっての普通は相手にとっても当たり前だと思っっている人は多いのではないのでしょうか。もう一度、普通とい

う言葉の意味をみんな考え直してみたいと思います。

《選評》

私たちは、よく「普通」という言葉を口にします。しかし、この作文は、人によって「普通」は違うんだ」と、友達の様子を見て感じた自分の経験から断言しています。主観的な「普通」で人を差別したり、避けたりしていかないか、と問いかけています。他にも日常的によく使う言葉として「みんなが」とか「一般的に」という言葉も同じことが言えるかもしれません。話し手と聞き手(読み手)の理解や認識に差が出てきたり問題が出てきたりします。普段何気なく使っている言葉の重さ、軽さについて考えさせてくれる優れた作文です。